

「じゅうろくカーボンオフセット付オートリース」の取扱開始について ～電動化が困難な事業者の脱炭素経営をサポート～

2025年12月15日
十六リース 株式会社

十六フィナンシャルグループの十六リース株式会社（代表取締役社長 白木 幸泰、以下「当社」といいます。）は、企業の脱炭素経営を支援するため、車両走行時におけるGHG排出量を実質ゼロにする「じゅうろくカーボンオフセット付オートリース」の取扱いを開始いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当社は、引き続き、お客さまとの対話を通じてカーボンニュートラル実現に向けた取組みを一層深化させてまいります。

記

1. 背景と目的

近年、事業者の「脱炭素経営」への取組みが課題となるなか、車両については、電動車へのシフトが推奨されています。一方で、業種や利用状況によっては対応が難しいケースも少なくありません。

当社では、お客さまの脱炭素経営を支援するため、カーボンニュートラルプログラム(※)を策定し、社会的課題の解決に向けた取組みを後押ししています。

本サービスの提供により、エンジン車のGHGを手軽にオフセットしてカーボンニュートラルを実現することを目的としています。

(※) 事業活動によって排出されるGHGの量を「知る」「減らす」「オフセットする」という一連の流れをワンストップで支援する仕組み

2. 「じゅうろくカーボンオフセット付オートリース」の概要

「じゅうろくカーボンオフセット付オートリース」は、当社のメンテナントリース車両の委託先である三菱オートリース株式会社（代表取締役社長 高井 直哉）と共同で開発したサービスです。

車両メンテナントリース契約時に、契約走行距離および車両カタログ燃費をもとに、リース期間中のGHG排出量を推定します。推定されたGHG排出量に相当するJ-クレジットを三菱HCキャピタル株式会社（代表取締役 社長執行役員 久井 大樹）が購入・無効化します。これにより、車両走行に伴うGHG排出量を実質的にゼロにします。

当社は、本サービスをカーボンニュートラルプログラムの支援メニューに追加し、車両リースをご利用のお客さまが、より手軽にカーボンニュートラルへの取組みを始められるよう支援します。

<「じゅうろくカーボンオフセット付オートリース」の概要>

対象車両	主にエンジン（HV含む）車の新車
対象契約	車両メンテナンスリース（委託先：三菱オートリース株式会社）
備 考	カーボンオフセットに係る費用は、リース料に含まれます。

【ご照会先：十六フィナンシャルグループ（広報） T E L 0 5 8 - 2 6 6 - 2 5 1 1】

以 上